

新年号

令和3年  
2021年

1月

# かわにし

## 市議会だより No.230

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

市花りんどう



### 新春を迎えて

市民の皆さまには、気持ちを新たに、清々しい新春を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界を席巻し、わが国においても4月には緊急事態宣言が発令され社会経済活動が停滞するなど、未曾有の危機に直面した1年となりました。

感染症が急速に拡大する中であって、本市においても、令和2年度に実施を予定していた事業の一部を中止・延期し、感染症対策を優先せざるを得ない状況に置かれました。市議会では、市が迅速に対策を講じられるよう、例年の定例会に加えて、5月・7月にも臨時会を開催し、感染予防や経済対策などを盛り込んだ補正予算などのコロナ対策関連議案を審議するとともに、感染症対策や地方公共団体の財源対策を講じるよう国に意見書を提出しております。

さて、本年は延期になっていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この大会が感染症対策を万全に施し無事開催され、現状の閉塞感を打ち破るものとなるよう期待を寄せています。市議会といたしましても、市民の皆さまに安心して暮らせる日常が戻ることを願い、二元代表制の一翼としての役割を果たしてまいります。

結びに、コロナ禍が1日も早く終息し、本年が皆さまにとりまして、幸多き1年となりますよう、心から祈念申し上げます。



議長 平岡 譲



副議長 多久和 桂子



# 建設公企常任委員会



- 谷 正充
- ◎松隈 紀文
- 久保 義孝
- 平岡 譲
- 大崎 淳正
- 山下 隆志
- 黒田 美智
- 小山 敏明
- 岡 留美

## 所管(委員会が担当する市の組織)

### 所管の概要

総合政策部	病院事業
都市政策部	住宅施策、空港対策、都市計画、公共施設等のマネジメント、開発、建築、空き家対策
土木部	道路・交通、公園、キセラ川西(中央北地区)の整備、一庫ダムの周辺整備
上下水道局	水道、下水道

# 厚生文教常任委員会



- ◎大矢根秀明
- 北野 紀子
- 多久和桂子
- 田中 麻未
- 津田加代子
- 江見 輝男
- 西山 博大
- 磯部 裕子
- 中曾千鶴子

## 所管(委員会が担当する市の組織)

### 所管の概要

福祉部	各福祉政策の推進、介護保険、生活困窮者自立支援、障がい者(児)自立及び社会参加の促進、生活支援
健康増進部	医療助成、国民年金、後期高齢者医療、国民健康保険、保健施策、健康づくり
教育委員会	市立学校、幼稚園、保育所、認定こども園、子どもや若者政策の推進、子育て支援、生涯学習、中央図書館、公民館

# 総務生活常任委員会



- ◎坂口 美佳
- 麻田 寿美
- 中井 成郷
- 福西 勝
- 斯波 康晴
- 秋田 修一
- 吉岡 健次
- 吉富 幸夫

## 所管(委員会が担当する市の組織)

### 所管の概要

総合政策部	市政全般の企画や総合調整、広報(広報誌[milife]など)、地域分権、市の財政運営、行財政改革、参画と協働のまちづくり、ふるさとづくり寄附金
総務部	市税の賦課・徴収、情報公開、工事等の契約、工事検査、庁舎・市有財産の管理、防災・水防、職員の人事や給与
市民環境部	生活相談、婚姻届や出生届等の受付、住民票の写し等の証明書発行、マイナンバーカードの交付、産業・文化・観光・スポーツの振興、人権、ごみ収集やリサイクル、斎場、環境保全
会計課	市の現金の出納及び保管
消防本部	消防、救急、火災予防
行政委員会(選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会・農業委員会)	
他の常任委員会に属しない事項	

# 川西市議会 役員一覧

## 川西市議会会派

会派の名称	幹事長名	所属議員名
市民クラブ“改革の風”	福西 勝	岡 留美 中井 成郷 谷 正充 津田加代子
明日のかわにし	斯波 康晴	田中 麻未 坂口 美佳 多久和桂子 小山 敏明
川西まほろば会	西山 博大	松隈 紀文 磯部 裕子 秋田 修一 久保 義孝
公明党	大矢根秀明	大崎 淳正 麻田 寿美 平岡 譲 江見 輝男
日本共産党議員団	北野 紀子	吉岡 健次 黒田 美智
(無所属)		吉富 幸夫 中曾千鶴子 山下 隆志

- 議長 平岡 譲
- 副議長 多久和桂子
- 議会運営委員会
  - ◎久保 義孝
  - 津田加代子
  - 大崎 淳正
  - 福西 勝
  - 西山 博大
  - 大矢根秀明
  - 斯波 康晴
  - 小山 敏明
  - 北野 紀子
- 広報委員会
  - ◎秋田 修一
  - 斯波 康晴
  - 麻田 寿美
  - 松隈 紀文
  - 中井 成郷
  - 吉岡 健次
  - 坂口 美佳
  - 久保 義孝
- 特別委員会
  - ◎大崎 淳正
  - 吉岡 健次
  - 中曾千鶴子
  - 磯部 裕子
  - 中井 成郷
  - 坂口 美佳
  - 大矢根秀明
  - 斯波 康晴
  - 北野 紀子
  - 津田加代子
- 議会選出の委員・議員
  - ◎西山 博大
  - 山下 隆志
  - 麻田 寿美
  - 岡 留美
  - 中井 成郷
  - 黒田 美智
  - 田中 麻未
  - 平岡 譲
  - 小山 敏明
- 中心市街地・新名神周辺整備調査
- 猪名川上流広域ごみ処理施設組合理事
- 監査委員 黒田 美智



# 新型コロナウイルス感染症に関する川西市議会の取り組み

市では、越田市長を先頭に、全職員が英知を結集しコロナ対策に奮闘しています。

市議会は、直接的に事業を行うことはできませんが、議事機関としての役割を果たすべく、コロナ対策について26人の議員が活発に議論を交わしています。

今号では、その取り組みを紹介させていただきます。



## 感染対策をしています

市議会の会議には大きく分けて、議案等を審議・議決する本会議と、議案の詳細な審査や、市の課題等について協議を行う委員会・協議会の2種類があります。

本会議や委員会等の会議には、議員や市の職員が出席して本会議場や委員会室において、様々な議論を交わしています。会議開催に際しては、マスク着用や入室時の手指消毒の徹底、ドアの開放や定期的な窓開けによる換気、入室する人員を限定し1席空けて着席するソーシャルディスタンスの確保など、基本的な感染症対策を講じた上で開催しています。

このほか、傍聴にお越しいただく方には、万々に備えた連絡先の提供や、密集・密接を避けるために別室での音声による傍聴などにご協力いただいています。コロナ禍が終息するまで、引き続き市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。



## 財源確保に議会費を削減

今回のコロナ禍では、外出自粛要請や休業要請によって、市民生活が深刻な影響を受けました。

そういった状況を踏まえ、市のコロナ対策経費に係る財源確保に市議会としても協力する必要性を認識し、昨年5月18日の議会運営委員会において、議員報酬をはじめとする議会の予算(議会費)を削減することとしました。

ここで確保した財源が、感染症対策事業費の一部として活用され、穏やかな日常が1日も早く取り戻せることを願います。

取り組み	効果額
7~12月の議員報酬を10%削減	約900万円
常任委員会の視察を中止	約260万円
政務活動費を10%減額	約187万円
特別委員会の視察を中止	約156万円
計	約1,503万円



年賀状はお出しできません

議員が、市民の皆さまへ年賀状(答礼のための自筆のものを除く)を出すことは、公職選挙法で禁止されています。公正な政治活動をするため、皆さまのご理解をお願いいたします。

## 国へ意見を提出しました

議会には、その地方公共団体の公益に関することについて国会や関係府庁に意見書申す「意見書提出権」があります。

川西市議会では、6月定例会において感染症拡大防止対策の充実強化を、9月定例会において感染症拡大の影響による地方財政の悪化に対して財源の確保を国に求める意見書を提出しました。

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見通せない中で、今後も必要に応じて国に意見を述べていきます。

### 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の充実強化を求める意見書(要旨:6月定例会可決・提出)

1. コロナに関する正確・迅速な情報提供
2. 受診・治療体制の周知と検査体制の強化
3. 感染者や医療従事者等への偏見・差別防止
4. 中長期的な展望の説明と経済・雇用・福祉を守り抜く対策
5. 地方自治体による継続的な対策への財政支援
6. 災害が同時に発生した場合の対処方針確立

### 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書(要旨:9月定例会可決・提出)

1. 地方の安定的な財政運営に必要な総額の確保。その際には臨時財政対策債が累積しないようにすること。
2. 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築し、政策税制については整理合理化を図り、新設・拡充等には有効性・緊急性を厳格に判断すること。
3. 固定資産税は市町村の基幹税であるから根幹に関わる見直しは行わないこと。さきの緊急経済対策としての軽減措置は、本来国庫で対応すべきであり、今回限りとする。

## 市政を後押ししています

市長は、法律や条例をはじめとする法令に基づき、予算を確保して事業を執行します。

一方、議会には条例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定など、地方自治法に定められた事項を議決する権限が付与されており、市長は議会の議決があって初めて事業を執行することが可能となります。

川西市議会では、年4回定例会を開催するよう条例で定め、例年は3月、6月、9月、12月に定例会が開催されます。そして、市長から予算案や条例案などの議案が定例会に提出され、議会で審議することとなっています。

しかし、昨年は新型コロナウイルス感染症対策が一刻の猶予も許されないことから、市が速やかに事業を実施できるように、5月、7月にも臨時会が招集され、関連する予算案、条例案などを迅速かつ慎重に審議し可決したところ です。